

クリキシバンカプセル 200mg

【この薬は？】

販売名	クリキシバンカプセル 200mg CRIXIVAN Capsules 200mg
一般名	インジナビル硫酸塩エタノール付加物 Indinavir sulfate ethanolate
含有量 (1カプセル中)	250mg (インジナビルとして 200mg)

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、抗ウイルス剤（HIVプロテアーゼ阻害剤）と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、HIV（ヒト免疫不全ウイルス）のプロテアーゼという酵素を阻害してウイルスの増殖をおさえます。
- ・次の病気の人に処方されます。

○後天性免疫不全症候群（エイズ）

○治療前のCD4リンパ球数500/mm³以下の症候性及び無症候性HIV感染症

- ・この薬は、他の抗HIV剤と併用されます。
- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると、病気が悪化したり、効きにくくなるおそれがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にクリキシバンカプセルに含まれる成分で過敏な反応を経験したことがある人
- ・次の薬を使用している人
アミオダロン塩酸塩（アンカロン）、トリアゾラム（ハルシオン）、ミダゾラム（ドルミカム）、アルプラゾラム（コンスタン、ソラナックス）、ピモジド（オーラップ）、エルゴタミン酒石酸塩・無水カフェイン（カフェルゴット）、ジヒドロエルゴタミンメシル酸塩（ジヒデルゴット）、メチルエルゴメトリンマレイン酸塩（メテルギン）、エルゴメトリンマレイン酸塩（エルゴメトリン）、リファンピシン（アプテシン、リファジン、リマクタン）、エレクトリプタン臭化水素酸塩（レルパックス）、アゼルニジピン（カルブロック）、プロナンセリン（ロナセン）、シルデナフィル（レバチオ）、タダラフィル（アドシルカ）、アタザナビル（レイアタッツ）、バルデナフィル（レビトラ）

○次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。

- ・肝硬変による肝機能不全の人
- ・腎機能に異常のある人
- ・血友病の人
- ・著しい出血傾向のある人

○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人では、1回4カプセルを8時間ごとに1日3回飲みます。

●どのように飲むか？

- ・空腹時（食事の1時間以上前または食後2時間以降）に水または脱脂乳、ジュース、コーヒー、お茶と一緒に飲んでください。なお、軽食（バターなしのトースト、ジュース、脱脂乳と砂糖入りのコーヒー、または脱脂乳と砂糖入りコーンフレークのような低脂肪食）は薬を飲む前後に摂取してもかまいません。
- ・ジダノシン（カプセル剤を除く）と併用するときには、2時間以上の間隔をあけて空腹時（食事の1時間以上前または食後2時間以降）に飲んでください。
- ・普通にとる食事や飲み物の他に、1日にコップ8杯（1.5リットル）以上の水分を必ずとってください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。

飲み忘れに気がついたときには、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

消化器系（吐き気、嘔吐（おうと）、下痢）や腎臓系（腎結石症、側腹部痛、血尿）

の症状があらわれることがあります。いくつかの症状が同じような時期にあらわれた場合は、すぐに医師に連絡してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬の処方、患者さんやそれに代わる適切な人が以下の点について十分に理解できるまで説明を受け、服用することに同意してから、開始されます。
 - ・この薬は、H I V感染症を根本的に治すものではありません。この薬を飲んでいても、病気が進行する可能性がありますので、この薬を飲んでいる間の身体状況の変化は全て医師に報告してください。
 - ・この薬を長く飲んだ場合の影響についてはわかっていません。
 - ・この薬が、性的接触や血液を通じた他者へのH I V感染の危険性を低下させるかどうかについては証明されていません。
 - ・高カロリー、高脂肪、高タンパク食を食べた後にこの薬を飲むと、この薬の体への吸収が減るので、空腹時（食事の1時間以上前または食後2時間以降）に飲んでください。
 - ・この薬により、腎結石症があらわれることがあります。腎結石症の発現をおさえるため、通常の生活で飲む水分に加えて、さらに24時間に少なくとも1.5リットルの水分を飲んでください。
 - ・医師に相談しないでこの薬を変更したり、やめたりしないでください。
- ・この薬を含めて、H I V感染症の薬を飲み始めた後、免疫力が回復し、日和見感染などに対する炎症反応（発熱、下痢など）があらわれたり、悪化したり、自己免疫疾患*（甲状腺機能亢進症、多発性筋炎、ギラン・バレー症候群、ブドウ膜炎など）があらわれたりすることがあります。
*自分自身の正常な細胞や組織に対して過剰な免疫反応が起こるため発症する疾患
- ・この薬を含むH I V感染症の薬によって体の脂肪の分布が変化し、顔や手足がやせたり、おなかのまわりが大きくなったりすることがあります。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳を中止してください。
- ・セイヨウオトギリソウを含有する食品は、この薬に影響しますので控えてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
腎結石症 じんけつせきしょう	激しい腰背部痛、血尿、腰の激しい痛み
出血傾向 しゅっけつけいこう	歯ぐきの出血、出血が止まりにくい、あおあざができる、鼻血
肝炎 かんえん	嘔吐（おうと）、からだがだるい、食欲不振、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、吐き気
肝不全 かんふぜん	吐き気、嘔吐（おうと）、羽ばたくような手のふるえ、食欲不振
貧血 ひんけつ	階段や坂を上る時の動悸（どうき）や息切れ、頭痛、息切れ、耳鳴り、めまい、からだがだるい
溶血性貧血 ようけつせいひんけつ	ふらつき、立ちくらみ、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、疲れやすい、褐色尿、頭が重い、めまい、からだがだるい、動く時の動悸（どうき）や息切れ
腎不全 じんふぜん	のどが渇く、むくみ、貧血、吐き気、無尿、頭痛、全身のけいれん、食欲不振、血圧上昇、尿量が減る
水腎症 すいじんしょう	食欲不振、からだがだるい、尿量が減る、頭痛、むくみ
間質性腎炎 かんしつせいじんえん	頭痛、膨れあがる感じ、関節の痛み、血尿、発熱
腎盂腎炎 じんうじんえん	悪寒、脇腹の痛み、発熱、背部痛
アナフィラキシー様反応 アナフィラキシーようはんのう	ふらつき、眼と口唇のまわりのはれ、しゃがれ声、意識の低下、息切れ、判断力の低下、動悸（どうき）、からだがだるい、ほてり、考えがまとまらない、じんましん、息苦しい
皮膚粘膜眼症候群 (Stevens-Johnson 症候群) ひふねんまくがんしょうこうぐん (ステーブンス-ジョンソンしょうこうぐん)	高熱、陰部の痛み、ひどい口内炎、唇や口内のただれ、発熱、中央にむくみをともなった赤い斑点（はんてん）、赤い発疹（ほっしん）、まぶたや眼の充血、食欲不振、からだがだるい、結膜のただれ
血糖値の上昇 けつとうちのじょうしょう	からだがだるい、脱力感
糖尿病 とうりょうびょう	水を多く飲む、尿の量が増える、からだがだるい、体重が減る、のどが渇く

肺炎 <small>すいえん</small>	胃・おなかの激しい痛み、吐き気、背中の痛み、嘔吐（おうと）
狭心症、心筋梗塞等の冠動脈疾患 <small>きょうしんしょう、しんきんこうそくなどのかんどうみやくしつかん</small>	胸が押しつぶされるような感じ、胸がしめつけられる感じ、胸を強く押さえた感じ、冷や汗
乳酸アシドーシス <small>にゅうさんアシドーシス</small>	考えがまとまらない、手足のふるえ、深く大きい呼吸、判断力の低下、意識の低下、吐き気、嘔吐（おうと）
白血球減少 <small>はっけつきゅうげんしょう</small>	のどの痛み、発熱
脳梗塞 <small>のうこうそく</small>	考えがまとまらない、判断力の低下、嘔吐（おうと）、片側のまひ、吐き気、しゃべりにくい、意識を失って深く眠りこむ、手足のまひ・しびれ、意識の低下、頭痛
一過性脳虚血発作 <small>いつかせいのうきょけつほっさ</small>	視力の低下、頭痛、しゃべりにくい、軽度の意識障害、一時的な片側の顔のまひ、めまい、しびれ、一時的な片側の手足のまひ、物が見えない

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	ふらつき、からだがだるい、立ちくらみ、疲れやすい、むくみ、貧血、全身のけいれん、関節の痛み、発熱、悪寒、高熱、体重が減る、冷や汗、脱力感
顔面	ほてり、鼻血、一時的な片側の顔のまひ
頭部	意識の低下、考えがまとまらない、頭痛、めまい、頭が重い
眼	眼と口唇のまわりのはれ、白目が黄色くなる、まぶたや眼の充血、結膜のただれ、視力の低下、物が見えない
耳	耳鳴り
口や喉	眼と口唇のまわりのはれ、しゃがれ声、歯ぐきの出血、嘔吐（おうと）、吐き気、のどが渇く、ひどい口内炎、唇や口内のただれ、水を多く飲む、しゃべりにくい、のどの痛み
胸部	息切れ、動悸（どうき）、息苦しい、吐き気、階段や坂を上る時の動悸や息切れ、動く時の動悸や息切れ、胸が押しつぶされるような感じ、胸がしめつけられる感じ、胸を強く押さえた感じ、深く大きい呼吸
腹部	食欲不振、吐き気、膨れあがる感じ、脇腹の痛み、胃・おなかの激しい痛み
背中	激しい腰背部痛、腰の激しい痛み、背部痛、背中の痛み
手・足	羽ばたくような手のふるえ、関節の痛み、手足のふるえ、片側のまひ、手足のまひ・しびれ、一時的な片側の手足のまひ

部位	自覚症状
皮膚	じんましん、あおあざができる、皮膚が黄色くなる、むくみ、中央にむくみをともなった赤い斑点（はんてん）、赤い発疹（ほっしん）
尿	血尿、褐色尿、無尿、尿量が減る、尿の量が増える
その他	判断力の低下、出血が止まりにくい、血圧上昇、陰部の痛み、意識を失って深く眠りこむ、しゃべりにくい、軽度の意識障害、しびれ

【この薬の形は？】

形状	 硬カプセル剤
ボトル	
色	キャップ／ボディ：白色／白色
識別コード	CRIXIVAN™200mg

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	インジナビル硫酸塩エタノール付加物
添加物	ステアリン酸マグネシウム、無水乳糖 カプセル本体：ゼラチン

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・この薬は吸湿性があるため、専用の容器で保存し、常時乾燥剤を入れておいてください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：MSD 株式会社(<http://www.msdl.co.jp>)

MSD カスタマーサポートセンター

フリーダイヤル：0120-024-964

受付時間：9：00～17：30

(土日祝日・製造販売会社休日を除く)